

平成 30 年度未来みやぎ子育て表彰受賞企業

医療法人隆徳会の取組

- 1 全国的にも看護師などの専門職の人材確保が課題となっていますが、同法人でも同様の問題を抱えていました。8割が女性で30代・40代の子育て中の方が多くを占めるなか、特に経験豊富でスキルの高い方が、産休・育休後に職場復帰してもらうことは、大きな課題となっていたそうです。
- 2 そこで創設されたのが、「短時間正社員制度」です。

平成25年度に始まったこの制度は、勤務時間を1日6時間もしくは7時間に短縮し、土・日・祝日・年末年始を完全休業とするもので、看護師、理学療法士、作業療法士などの専門職種で、育児休業から復帰する職員等がこれまで利用しています。

平成30年11月現在で24名の職員がこの制度を活用されており、職場復帰率100%の達成、制度利用を希望する看護師の安定した採用など大きな効果を発揮しています。
- 3 さらに、休暇制度にも新たな取り組みが始まりました。

「子の看護休暇」「配偶者の出産休暇」「子の保育園の入退所への参加にともなう休暇」など、子育て家庭を支援するメニューが取り入れられたことで、職員の休暇取得率が上がり、男性職員も積極的に活用するようになっていきます。

また、「残業しない、させない」という意識も職場全体に浸透しているようです。
- 4 これらの取組は、様々な機会を通じて職員への周知も徹底されており、制度を利用する職員の増加に伴い、子育てを応援しようという、それを支える職員の意識変化にもつながっています。また、病院が職員のことを常に考えてくれているという認識が職員の中に広がってきているように感じられるなど、働きやすい職場づくりにもつながっています。
- 5 また、20年来に亘って毎年開催している夏祭りは、地域の夏の恒例行事としてすっかり定着しています。地域住民の方々、入院中の患者様やそのご家族を招待し交流を行っています。みやぎ犬と地域の子どもたちとのダンスは特に好評だそうです。